

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の取組み状況について

【概要】

地域において、健康課題を把握し、閉じこもりがちな高齢者、健康状態不明な高齢者を特定し、必要に応じて医療・介護サービスにつなげる。また、保健事業（疾病予防・重症化予防）と介護予防を行い、地域の医療関係団体等と連携を図りながら、サロン等の通いの場において、フレイル予防にも着眼した高齢者への支援を行う。

- ・令和2年9月より、事業を実施。
- ・令和4年度も引き続き同様に実施予定

●本市における高齢者に対する支援内容

①ハイリスクアプローチ（高齢者に対する個別的支援）

- 健康状態が不明な高齢者の状態把握、必要なサービスへの接続
⇒介護保険課において「介護予防把握事業」の一部として実施

<令和3年度の実績>

抽出基準：令和3年度中に75歳以上に達する者の中で、要介護・要支援認定がなく、過去3年間健康診査未受診かつ医療機関に受診歴がない者。更に、市外在住、施設入所、死亡者及び昨年度実施した者を除き、対象を選定。

取組方法：抽出した対象者に対し、後期高齢者の質問票を送付。返信結果から、フレイルリスクのある者及び返信が無かった者に対し、地域包括支援センターの医療職が訪問。健康状態の把握と生活状況について聞き取りを行い、必要な者へ健康相談、利用できる事業紹介等を行い、適切なサービスへつなげる。

対象人数と返信率

対象者	返信者（率）	未返信（率）
113名	75名（66.4%）	38名（33.6%）

②ポピュレーションアプローチ（通いの場等への積極的な関与）

- サロン等通いの場において後期高齢者健康診査質問票を活用し、フレイルチェックを実施。

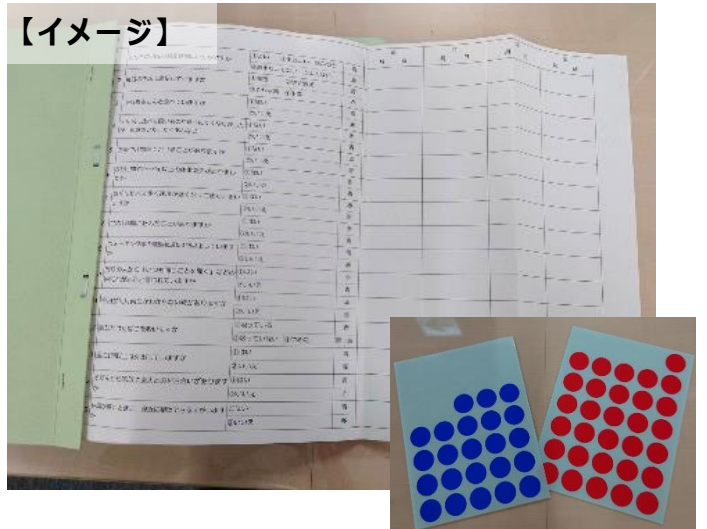
令和4年11月末時点での実績

※市内サロン数 78か所

実施したサロン数	実施した人数
29か所	543名

フレイルチェック

後期高齢者の健康診査で活用されている質問票を使い、質問に対する回答に応じて赤・青 2 種類のシールを貼ることで、一目でフレイルリスクがある項目、回答の経過がわかるようにする。自身の健康を振り返るきっかけや健康づくりに活用していただく。(ファイルに綴って 1 人 1 冊お渡し)



③企業と連携した取組み

(ア) 住友理工株式会社フレイルチェック測定会

体組成、握力、5 m 歩行速度、3 m TUG、足圧バランス計等を測定後、その結果を住友理工株式会社が開発したフレイルチェックシステムへ入力することで、フレイル判定ができる。

【測定会の様子】



開催回数：5回 実施人数：78名 (※令和3年12月末現在)

(イ) まちかど運動教室

令和3年10月より、6か月間で12回実施する介護予防普及啓発事業を実施。中部公民館、東部市民センター、味岡市民センター、北里市民センター、西部コミュニティセンター、南部コミュニティセンターの計6会場で実施。

参加人数：93名

(ウ) 保険会社を通じた健康づくり事業の周知啓発

第一生命保険会社の協力のもと、健康意識に関するアンケートを実施。

all Komakiを歩こう! alko
小牧市ウォーキングアプリ

さあ、お母さん! alkoと一緒に元気に歩きましょう!

- ランニング機で自分の歩数を記録できる
- 歩数、歩行時間、距離、消費カロリー等を計測し、表示できる
- グループ機能を活用すれば、グループごとに競争が可能
- 個人、学区対抗で歩数を競い合うなど楽しいチャレンジも!

チャレンジ達成で素敵な景品プレゼント!
歩く歩数をalkoポイントは市内限定商品券に交換できます!

alkoダウンロードはコチラから!

健康づくりに関するアンケート

Q1 あなたの性別、年齢、住居形態について教えてください。

Q2 1年以内に芝原健康診断や健康診査等の結果を受けられましたか?

Q3 1年以内にがん検診を受けられましたか?

Q4 健康に関して取り組んでいることがあれば、お聞かせください。(複数回答可)

性別	年齢	住居形態	結果
男性	65歳以上	一人暮らし	結果
女性	65歳以上	一人暮らし	結果
男性	65歳以上	家族世帯	結果
女性	65歳以上	家族世帯	結果
男性	65歳以上	高齢者施設	結果
女性	65歳以上	高齢者施設	結果